



(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 10049089 A
 (43) Date of publication of application: 20.02.1998

(51) Int. Cl. G09F 17/00

(21) Application number: 08219275
 (22) Date of filing: 01.08.1996

(54) FLAG

(57) Abstract:

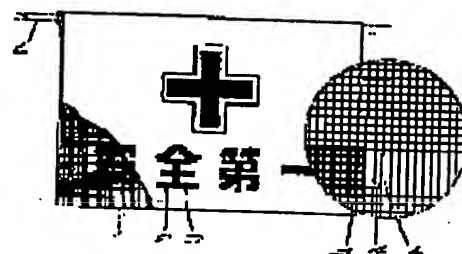
PROBLEM TO BE SOLVED: To make the back of a mesh fabric visible through the meshes of this fabric and to improve ventilation to lessen swinging by wind by adhering printing ink so as not to close the meshes of the mesh fabric.

SOLUTION: A flag body 1 comprises the mesh tarpaulin fabric. This flag body 1 is printed 2 with a sign of 'Safety First' in the state that the printing 2 does not close the mesh fabric and that the ink 3 of the printing 2 is adhered to the front surfaces and the half surfaces on the right and left front sides of the warp 4 and weft 5 of the meshes. In this case, fluorescent ink and light storage ink are used as the ink 3 for printing. Other mesh materials are usable in place of the mesh

(71) Applicant: SATO IKEN:KK
 (72) Inventor: SATO SHIZUO

tarpaulin fabric. The obstructions on the back side of the flag body 1 are made visible through the mesh fabric by comprising the flag body 1 in such a manner. Since the flag body hardly receives a wind pressure, a weak support suffices. A high display effect and advertisement effect, such as ease of legibility not only from the front but from a lateral diagonal direction as well are obtainable.

COPYRIGHT: (C)1998,JPO



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-49089

(43) 公開日 平成10年(1998) 2月20日

(51) Int.Cl.⁶

G 0 9 F 17/00

識別記号

庁内整理番号

F I

G 0 9 F 17/00

技術表示箇所

D

審査請求 未請求 請求項の数 1 F D (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平8-219275

(22) 出願日 平成8年(1996) 8月1日

(71) 出願人 000130617

株式会社サトー医研

東京都中央区入船1丁目2番8号 サンバ
ーク東京銀座705号

(72) 発明者 佐藤 静夫

東京都中央区入船1丁目2番8号 サンバ
ーク東京銀座705号 株式会社サトー医研
内

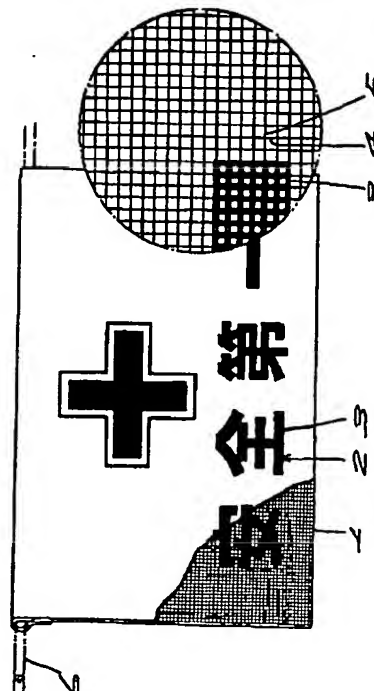
(74) 代理人 弁理士 杉山 泰三

(54) 【発明の名称】 旗

(57) 【要約】

【課題】 見通しをよくし風通しをよくするための工夫を施した旗を提供することを目的とするものである。

【解決手段】 メッシュ地を以て旗本体を構成し、この旗本体に標識・広告・装飾等の印刷を当該印刷がメッシュの目を塞がない状態および印刷インクがメッシュ地の経糸および緯糸の正面および左・右面に付着した状態として設けたものである。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 メッシュ地を以て旗本体を構成し、この旗本体に標識・広告・装飾等の印刷を当該印刷がメッシュの目を塞がない状態および印刷インクがメッシュ地の経糸および緯糸の正面および左・右面に付着した状態として設けたことを特徴とする旗。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、工事現場や建設現場、商店街、その他の適宜の場所において用いる標識旗や広告旗、のぼり等旗に関する。

【0002】

【従来の技術】一般に知られている旗は、メッシュになっていない布地に印刷を施しているものであって、これが工事現場や道路の傍に掲揚された場合には、当該旗の裏の方になってしまった部分が見えなく、その様子が判りにくくなるものであつた。このために、例えば対向車や障害物等に気付くのが遅くなってしまつて大事故に至ってしまう等の危険性があり、また布地の風通しの悪さから揺動（あおり）が比較的はげしく、印刷の内容が判読しにくい等の問題があつた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、上記したような問題点を解消する工夫を施した旗を提供することを目的とするものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために本発明に係る旗は、メッシュ地を以て旗本体を構成し、この旗本体に標識・広告・装飾等の印刷を当該印刷がメッシュの目を塞がない状態および印刷インクがメッシュ地の経糸および緯糸の正面および左・右面に付着した状態として設けたものである。

【0005】

【実施例】図に示す実施例は、メッシュ・ターボリン地を以て旗本体1を構成し、この旗本体1に「安全第一」の標識の印刷2を、当該印刷2がメッシュ目を塞がない状態および印刷2のインク3がメッシュの経糸4および緯糸5の正面および左・右側半面に付着した状態として設けたものであって、図中符号6は掲揚用ロープを示

す。尚、本発明は、インクとして蛍光インク、蓄光インクを使用すること、またメッシュ・ターボリン地の代りに他のメッシュ材を使用することができる。

【0006】

【作用】メッシュ地であるために、印刷インクによる経糸および緯糸の正面および左・右面への印刷が容易に可能であり、またメッシュ地の目を通して風通しもよく、裏の方を見て知ることも可能である。

【0007】

【発明の効果】本発明に係る旗は上記のように、メッシュ地を以て旗本体を構成し、この旗本体に標識・広告・装飾等の印刷を当該印刷がメッシュの目を塞がない状態および印刷インクがメッシュ地の経糸および緯糸の正面および左・右面に付着した状態として設けたので、メッシュ地の目を通して裏の方を透し見てその様子を早く知ることができるものであって、対向車や障害物、曲り角等に気付き易く、事故につながり易い危険性の回避に極めて有効且つ好適なものであり、またメッシュの目を介しての風通しも抜群によいものであって風による揺動が少なく印刷の判読のし易いものであるのみならず風による孕みも起しにくく風圧も受けにくいものであって、その分、旗の掲揚のための支持が弱いものでも足りることになる利点があり、またメッシュ地の経糸および緯糸への印刷は、正面にも左・右面にも施され（図2参照）ているもので、正面からは勿論、左斜めの方向からでも右斜めの方向からでも印刷の内容の判読が謂所広角で可能なものであって、表示効果、広告効果が高く優れているものである。

【図面の簡単な説明】

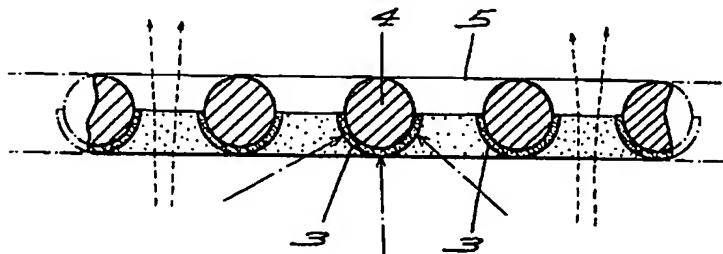
【図1】本発明の実施例を示す一部拡大斜視図である。

【図2】同じく要部の拡大断面図である。

【符号の説明】

- 1 旗本体
- 2 印刷
- 3 インク
- 4 経糸
- 5 緯糸
- 6 掲揚用ロープ

【図2】



【図1】

